



かけはし

智恵文小学校

学校だより

第2号

令和2年 5月29日

智恵文小中一貫教育目標「自ら学び、未来をたくましく生き抜く智恵文の子」

智恵文小教育重点目標「自ら考え、学ぶ力を身に付けた子ども」の育成

学校再開に向けて

校長 本間 修司

感染予防のため4月20日から続いた臨時休校から学校再開へ見通しが立ってきました。段階的な学校再開のために18日からの分散登校で子どもたちが楽しそうに登下校する様子を見て、こちらにも力が入ります。6月1日からは、通常の授業に戻れそうです。

しかし、気を緩めるとまた、感染拡大の波が来ます。まだまだ、感染拡大防止に努めた教育活動となります。そのため、今年度の保・小・中合同運動会を中止といたしました。また、修学旅行・遠足は2学期に延期し、修学旅行の行先は札幌・石狩方面を避けて検討中です。大勢の観客が体育館に集まる学芸会も大変不安です。児童やご家族の皆様のご健康・命に関わることでありますので慎重に判断いたします。

臨休が続く中でICTを活用した家庭学習支援が話題になりました。授業の動画配信、オンライン授業、ビデオ会議システムなどいろいろなICTの活用方法があることがわかりました。これらを活用するためにネットにつながった一人一台のパソコンなどが必要です。今後、名寄市の小中学校も整備が進みます。そこで、智恵文小の教員も使うことができるように研修を進めます。

それ以上に必要なのは、子どもたちへの意欲づけです。家庭で我が子をパソコンの前に座らせ、勉強させるために、大人も一緒に楽しむ気分が必要ではないでしょうか。

臨休が続いたことで今年度の授業時数が少なくなり、今後、効率的な学習が求められています。さらに、夏・冬休みに設定する登校日、行事の見直し。そのような中でも、子どもたちが主体的な学習を進められるように、教職員一丸となって取り組みますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

私の時々振り返る言葉
やってみせて、
言ってみせて、
やらせてみて、
ほめてやらねば、
人は動かじ。……
山本五十六



エゾエンゴサク 5月7日

校舎のそばでお花畑に。花の蜜を吸って楽しんだことがあります。

今年度の運動会は、中止です。

学校に響く子どもたちの声

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月20日から2度目の臨時休校となっていました。5月18日（月）から各学年2時間ずつではありますが、分散登校で学校に子どもたちの元気な声が響く毎日が戻ってきました。久しぶりの学校に、まだ戸惑いもあるようですが、友達との会話や学習・運動を楽しんでいる様子が見られ、安心しているところです。5月25日からは給食も始まりました。

今後の状況によって、さまざまな変更も考えられますが、子どもたちが普通に学ぶことのできる毎日が一日も早く戻ってくることを願っています。



栽培活動～今年は麦に挑戦！

5月19日（火）、分散登校で各学級を2つ（学年毎の単式授業）に分けて登校しました。登校後、学校園に、種や苗を植えました。今年は全学年で麦の栽培を行います。麦はJAのご厚意で種籾を分けていただきました。また、各学年毎に学習で取り組む植物を植えました。こちらは、なよろ食育推進ネットワークからいただいた活動費で、

1・2年生は、いちごとトマト、ジャガイモ等3・4年生はスイカ（この後、ホウセンカ、ヘチマ等を植える予定です。）5・6年生はトマトとピーマン（この後、ホウセンカ・ひょうたん・きゅうり・インゲン・アサガオ等を植える予定です。）を植えました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、たくさんの制約の中ではありますが、工夫しながら畑のお世話を続け、秋の収穫を楽しみたいと考えています。



一人一鉢のペチュニアは

4月17日（金）に植えたペチュニアが芽を出しました。しばらく見ない間にずいぶん大きくなっていましたので、子どもたちもビックリしていました。通常登校が始まれば、一人一鉢のお世話を開始する予定です。



※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、いろいろな取組が延期や中止となり、多くの行事が開催未定となっています。学校では、国・道・市の情勢と新型コロナウイルス感染症拡大防止の方策を確認しながら、学習活動を進めてまいります。